

鈴木あやこ

働く世代の ワーク・ライフ・バランスを 応援します！

鈴木あやこのプロフィール

1975年2月18日生まれ。成城大学卒業後、(株)NTTドコモ勤務。猿江、潮見の居住を経て、豊洲在住。働く若い世代を代弁する女性議員が不在、という江東区議会の構成に問題意識を持ち、在職中に早稲田大学大学院で政策を学び、2011年江東区議会議員に初当選。待機児童問題、子育て・介護など、ワーク・ライフ・バランス政策に注力。インターネットによる情報発信や、対話型の区政報告会「あやこcafé」の毎月実施など、「区政の見える化」を推進。

2015年 江東区議会議員選挙にて2期目の当選。

★所属委員会 (2017年度)

文教委員会 委員/オリンピック・パラリンピック推進特別委員会 副委員長

★マニフェスト大賞副実行委員長ほか、全国の地方議員の勉強会の事務局に携わる。

★趣味：料理・まち歩き・水辺歩き



鈴木あやこの活動報告

山崎孝明江東区長へ予算要望提出 (10月25日)

山崎孝明江東区長へ、民進党・無所属クラブの「平成30年度予算要望書」を提出いたしました。「健康福祉」「子育て・教育・スポーツ」「防災・みどり・まちづくり」「産業文化・観光」「環境・生活・コミュニティ」「自治体経営」の5つの分野の具体的な政策を予算項目としてまとめたものです。

政調会長として、会派の全議員の政策要望を取りまとめを担わせて頂きました。平成30年度は、2020年の東京オリンピックの開催に向け、江東区独自のまちづくりを実施する時期。区民の皆様の要望を政策に反映させるべく、頑張っております。



山崎区長に予算要望を提出



政策制度要求書

夜間保育園「エイビイシイ保育園」視察 (11月14日)

政策実現ができる女性議員のネットワーク「WOMAN SHIFT」の研修で、新宿区大久保にある24時間保育の認可保育園「エイビイシイ保育園」を視察。夜間保育園が舞台のドキュメンタリー映画「夜間もやってくる保育園」を鑑賞した後、現地視察とワークショップに参加しました。24時間の夜間保育のほか、オーガニック素材の食事の提供や療育、個性を活かした保育などで第三者評価も非常に高い園。片野清美園長の保育にかける熱い思いを伺い、多様な立場のニーズに応える保育のあり方について考えさせられました。学んだことを江東区政にしっかり活かしていきます。



視察風景・片野園長と、WOMANSHIFTのみなさんと



毎月開催！ 鈴木あやこ区政報告座談会「あやこcafé」開催案内

江東区のまちづくりについて、みなさまとざっくばらんに対話する区政報告座談会「あやこcafé」最新のまちづくりの話題や議会活動のお話を中心。お気軽にお越しください！

第80回：平成29年12月21日(木) 19:00～20:30 豊洲文化センター第3研修室
豊洲文化センター住所：江東区豊洲2-2-18 8階(豊洲駅徒歩1分)





第3回定例会 開催報告 & 第4回定例会の日程について

江東区議会平成29年第3回定例会は、9月21日～10月25日までの会期で開催されました。会期中には決算審査特別委員会も行われ、一般会計、特別会計ともに認定されました。鈴木あやこは一般質問や補正予算、決算質疑などで質問を行いました。現在、第4回定例会が11月28日～12月14日の日程で開催中です。



鈴木あやこの議会質問

一般質問①「東京オリンピック・パラリンピックの成功に向けて」

① 大会開催による豊洲地区への影響について

【質問】 本区では、オリンピック・パラリンピックあわせて19競技が開催され、その競技場は湾岸エリアに集中している。会場付近の道路や鉄道などの混雑により、豊洲地区の住民や企業に勤務する方々の日常生活や業務に支障が懸念される。

現状においても、豊洲では、駅構内の混雑に加え、豊洲駅からオフィスに向かう通勤者と、自宅から駅に向かう住民と自転車が晴海通りの路上で接触し、危険であるという声もある。大会開催時には、さらなる観客の来訪が見込まれることから、現状の混雑緩和が急務。現在の豊洲駅付近の混雑に関する認識と混雑緩和について区の認識を伺う。

【答弁】 豊洲地区は高層マンションやオフィスビルなどが立ち並び、朝の通勤時には、豊洲駅に向かう人の流れと逆にオフィスに向かう人の流れが交錯し、混雑していることは区としても認識している。そこで、晴海通りでは、道路管理者である東京都に要望し、植栽帯の縮小による歩道の有効幅員の拡大などの対策を行っているところである。

大会開催中は、多くの観光客が豊洲地区を訪れ、更なる混雑が予想される。快適な歩行空間の確保や安全な歩道環境の整備に向けて、道路管理者や交通管理者と協力し、混雑緩和を図る。

② 五輪輸送運営計画について

【質問】 東京都がこの6月に発表した、大会開催時の選手や観客、スタッフなどの円滑な輸送のために定めた「輸送運営計画V1」によると、観客輸送における各会場の観客利用想定駅で、豊洲・辰巳・新木場・国際展示場・新豊洲・有明テニスの森など、



多くの駅が有楽町線、ゆりかもめの駅を利用することとしている。特に有明アリーナで行われるバレーボールは豊洲駅から観客を競技場まで徒歩とする計画になっている。夏場の暑さ対策の問題や道路の混雑により地域住民の日常生活に影響が出ることも容易に想定され、観客の安全で円滑な輸送と、混雑緩和は急務。現在の輸送運営計画では、シャトルバスが利用されるのは海の森で行われる競技のみで、その他の会場へは鉄道と徒歩による移動を想定している。混雑緩和と円滑な輸送のために、駅から会場まではシャトルバスの運行の検討や、裏道となる区道などの生活道路に観客が押し寄せ、近隣住民の日常生活に支障が出ないよう、警備、誘導するよう都に求めていく必要があるが区の見解を伺う。

また、円滑な輸送のためには、環状2号線の活用が必須だが、豊洲市場移転延期の影響で、本線4車線の整備が遅れ、地下部分の工事がオリンピックに間に合わなくなり、地上部道路の開通も平成32年3月の見込みであると都の関係局長会議の中で示されている。これにより、臨海部のBRTの平成31年度の開通にも影響を与え、大会本番の輸送運営計画にも影響を与えることが懸念される。少なくとも残された地上部道路は何としても早期開通させるよう都に強く求めていくべきだが、区の見解を伺う。

【答弁】 観客輸送ルートの設定においては、会場周辺の駅を利用想定駅とし、シャトルバスは徒歩圏内に駅が存在しない場合に活用している。今後都から示されている具体的ルート設定の中で、必要な提言を行なっていく。

また、区民の日常生活への影響が懸念される事項については、警備員や誘導員の配置等の対策を要望する。環状第2号線については、地上部道路整備のスケジュールを早期に確定させ、大会時に円滑な輸送に図られるよう都に求める。

③ テロやミサイルの対策について

【質問】 大会競技会場の集中する江東区は、テロの標的になることも懸念される。最近では、北朝鮮情勢の緊迫により、北朝鮮からの弾道ミサイルの脅威も高まっている。本区においても、有事に備えて国や都と連携し、危機管理を強化すると同時に、有事発生時に備えて、想定訓練の実施などを含めた啓発が必要。現在の本区の対策、国や都との連携状況、有事発生時、避難所開設が必要になったときなどに、災害協力隊や町会自治会とどのように連携体制を取るのか伺う。

【答弁】 危機管理の強化については、江東区国民保護計画を今年の3月に見直し、テロ対策を強化したものに変更した。区民への啓発については、4月から区のホームページに変更後の国民保護計画を掲載するとともに、弾道ミサイル落下時の行動などを掲載し、随時更新しながら周知している。また、今回の総合防災訓練から、事態発生時の警報の伝達、避難誘導、ミサイル落下時の具体的な行動などを2種類のチラシにまとめ、配布を始めた。

国や都、災害協力隊、町会・自治会との連携については、国民保護は、国・都の指示に基づいた対応となるため、今後、合同訓練や地域講習会の開催などを検討し、連携体制を整えていく。

④ 違法民泊への対応について

【質問】 外国人観光客の増加に伴い、本区では、新たなホテル建設も進んでいるが、マンションの一室などを、民泊仲介サイトなどを通して貸出を行う違法民泊も増えている。このような状況の中、住宅宿泊事業法が6月に成立し、1年以内に民泊が全国で解禁となる見込みである。民泊は観光推進の側面もある一方で、住民の安全確保や生活衛生の維持は大切。民泊問題について、全庁的に課題解決できる体制づくりが必要である。本区におけるマンションの民泊に関する見解は。

【答弁】 本区では、区民の安心と安全を前提に適正な民泊が提供されることが大切と考えている。住宅宿泊事業法では、区が都との協議によって事業に関する行政事務の処理ができ、その上で、区域を定めて実施期間を制限できる条例を定めることができるとされている。区としては、副区長をトップとする住宅宿泊事業法に関する検討委員会を設置し、方針や課題、対応等につき全庁的に検討を重ね、都と協議を行う。住宅宿泊事業の届け出や報告時に違反や虚偽がないよう、施設への立ち入り時に十分な指導が行えるよう、関係部署間で連携して対応する。